

胎児精密超音波検査のご案内

赤ちゃんの成長や健康状態、形態異常を詳しく調べることができる検査です。当院では専門の医師が対応します。



💡 このようなことがわかります 💡

赤ちゃんの 成長・発育の確認



赤ちゃんの成長の様子
を確認します。

異常の早期発見



心臓やからだに形態的
な異常がないか丁寧に
観察します。

安心して 出産を迎えるために



結果の異常はわかりや
すく説明し、必要に応
じて今後のフォローも
行います。

検査 について

- 検査時間は約20～30分です。
- お腹の上にゼリーをつけて、超音波で赤ちゃんを観察します。
- 痛みはなく、安心して受けていただけます。



胎児精密超音波検査は、希望者に対してのみ妊婦健診とは別に実施しています。

対象：妊娠 22 週～28 週の妊婦さん※

実施日程：月曜日 午前 / 木曜日 午後（所要時間 20～30 分）

完全予約制

申込方法：外来担当医にお申し出ください。他院かかりつけの方は病院の代表番号（03-3342-6111、平日 10:00～14:30）におかけください。

費用：当院で分娩予定の方 10,000 円（税込）、他院で分娩予定の方 15,000 円（税込）



生まれつき病気を抱えている赤ちゃん（先天性疾患）の数は 100 人に 3～5 人と言われています。超音波検査は出生前検査の 1 つで、NIPT など遺伝学的な検査だけではわからない、形態学的な異常がないかを検査します。一部の先天性疾患は生まれる前に準備しておいた方が望ましいものもあり、これにより赤ちゃんが生まれた時に必要なケアや治療をスムーズに開始することができます。

～検査を受ける前にご確認ください～

生まれる前のお腹の中にいる状態で、すべての赤ちゃんの病気を見つけることができるわけではありません。また、母体の体格（肥満）や赤ちゃんの向きによっては十分な検査ができない場合があることもご理解ください。

限られた時間内に十分な検査を行うため、特別な異常がなければ検査画像のご説明をしたり、妊娠に関する質問や相談をお受けしたりすることはできません。ご理解いただいた上で検査を受けてください。

Q and A

◇ 通常の妊婦健診で受ける超音波検査とは違いますか？

胎児精密超音波検査とは、行う目的が異なります。通常の妊婦健診でも超音波検査を行います、これは主に赤ちゃんの大きさや羊水の量、赤ちゃんのあたまの向きなどの確認を目的としています。胎児精密超音波検査は、出生後の予後に関わるような形態学的な異常所見について詳しく観察することを目的として行います。

◇ 検査を受けた方がいいですか？

胎児精密超音波検査は出生前検査の1つであり、ご希望に沿って行うオプションの検査となります。妊娠前からのご病気（糖尿病、膠原病、長期薬物治療、てんかんなど）がある場合やご自身やご家族に先天性疾患の既往がある方、妊娠初期の胎児 NT 肥厚や三尖弁逆流などでご不安が強い場合には 受けることを推奨しています。

◇ 妊婦健診と同じ日に検査を受けることが可能でしょうか？

別の診察となり、同時に妊婦健診は受けられません。

◇ 画像がもらえますか？

医療目的の検査であり、記念写真を目的としていないため、超音波の画像提供は確約できません。画像データの提供も行なっていません。

◇ 22 週未満や 28 週以降でも受けられますか？

検査は可能ですが、診断が確定できる疾患が少なくなったり、観察が不十分になったりする場合があります。

妊娠週数が進んだ段階で初めて所見が確認できるものもあり、妊娠後期になると十分な観察が困難なこともあり、できるだけ 22 週から 28 週までに受けることをお勧めします。

